

Meadow in Kew Gardens, London; fjordaan (Creative Commons 2.0 CC BY)

立命館大学交響楽団第109回定期演奏会

The 109th Regular Concert of Ritsumeikan University Symphony Orchestra

シューマン 交響曲第1番変ロ長調「春」

R.Schumann:Symphony No.1 in B flat major "Spring"

メンデルスゾーン 劇付随音楽「真夏の夜の夢」より 序曲・夜想曲・結婚行進曲

F.Mendelssohn:Overture, Nocturne, Wedding March from "A Midsummer Night's Dream"

メンデルスゾーン 序曲「フィンガルの洞窟」

F.Mendelssohn:Fingal's Cave Overture

指揮 大河内 雅彦(客演) 藤本 直也(学生)

2013年6月7日(金)

京都コンサートホール 大ホール

開場 18:00 開演 19:00

全席自由(一部指定)

【一般】1000円 【大学生以下】700円[学生証提示]

※誠に勝手ながら、未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

チケット販売場所 ●チケットぴあ(各店舗、サークルK・サンクス) / Pコード予約 Pコード:196-863
TEL 0570-02-9999 (24時間受付可)
●立命館大学生協衣笠・BKCプレイガイド、京都コンサートホール
●JEUGIA三条本店APEX管楽器・APEX弦楽器

■お問い合わせ <http://ruso.s297.xrea.com/> E-mail ruso_info@yahoo.co.jp TEL 080-7005-2634 (広報:石渡^{いしわた})

助成:京都コンサートホール(財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

後援:京都府・京都市・京都市教育委員会・京都新聞社・京都新聞COM・KBS京都

立命館大学交響楽団 (Ritsumeikan University Symphony Orchestra)

立命館大学交響楽団は昭和30(1955)年に創団された。第一回目の演奏会は本学の合唱団との合同開催であったが、その演奏会以降活動を定着させ、平成20(2008)年12月には第100回目の定期演奏会を開催するに至った。草創期のきわめて小規模のオーケストラが、現在では120人あまりの団員を有する学内最大規模の活動団体に成長、年2回の定期演奏会を中心に、「地域に根ざした学生オーケストラ」として京都・滋賀・大阪などで多彩な活動を展開している。

立命館大学の誇る学生団体として各種の学園・大学行事にも参加、定期演奏会もしばしば大学行事として位置づけられている。昭和56(1981)年の「大学創立80周年・衣笠移転事業完成記念 第46回定期演奏会」での「第九」の公演以来、平成6(1994)年には「びわこ・くさつキャンパス(BKC)および政策科学部開設記念 第72回定期演奏会」において、マーラーの交響曲第2「復活」に挑戦、また平成12(2000)年には「立命館

創始130年・大学創立100周年 第84回定期演奏会」を成功させてきた。平成9(1997)年、平成11(1999)年には「立命館アジア太平洋大学開学記念事業」として別府市・大分市での演奏会を開催するなど、立命館学園の発展とともにその活動範囲も拡大しつつ「地域に根ざした学生オーケストラ」として、びわこ・くさつキャンパス(BKC)に近いびわ湖ホールでの定期演奏会を定例化、市民の皆様にも好評を博している。平成16(2004)年には楽団創立50周年を迎え、ドイツを拠点として活躍中の阪哲朗氏をオーケストラアドバイザーとして招聘、長期的視点での楽団の育成・強化に取り組み、技術・運営両面でのさらなる活動水準の向上を目指している。

近年の活動としては、平成21(2009)年には金聖響氏による通年でのご指導をいただき、ブラームスの交響曲第4番、ブルックナーの交響曲第9番を演奏、学生オーケストラにとどまらない水準の音楽表現を目指した。2010年度はハイドンの第101番「時計」を

第103回定期演奏会では大河内雅彦氏に、2010年度サマーコンサートでは阪哲朗氏の指揮の下で演奏し、異なったアプローチで音楽を創り上げた。同年12月の第104回定期演奏会ではチャイコフスキーの交響曲第6番「悲愴」を演奏し、2011年度の第105回定期演奏会ではドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」を横島勝人氏に、同年12月の第106回定期演奏会ではマーラーの交響曲第1番「巨人」を寺岡清高氏の指揮の下で演奏した。また京都府主催の第26回国民文化祭でコンサートを行うなど、地域への還元活動も行っている。2012年度は第107回定期演奏会でベートーヴェンの交響曲第3番「英雄」を大河内雅彦氏の指揮の下で演奏し、サマーコンサートでピアノ研究会との共催でグリーグのピアノ協奏曲を演奏、第108回定期演奏会ではドヴォルザークの交響曲第8番を阪哲朗氏のもとで演奏した。2013年の2月には大分で特別演奏会を行った。

大河内 雅彦 (Masahiko Okochi, Conductor)

1971年生まれ。愛知県立岡崎高校を経て、東京芸術大学器楽科卒業。

2002年4月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員として飯守泰次郎・矢崎彦太郎両氏のもとで研鑽を積む。同団副指揮者を経て、2007年6月より、東京シティ・フィルのアソシエイト・コンダクターに就任。この間に同団の100回公演を指揮。

またこれまでに、広島交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、大阪市音楽団、シエナ・ウィンドオーケストラ、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、東京都交響楽団、神奈川フィルハーモニー

管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団を指揮。

これまでに指揮をハンス・グラーフ、カール・エステルライヒャー、湯浅勇治、小松一彦、広上淳一の各氏に師事。

第49回ブザンソン国際指揮者コンクール セミ・ファイナリスト。

2006年度より上野学園大学音楽文化学部非常勤講師(オーケストラ・管打合奏)を務める。

またこれまでに、多くのアマチュアオーケストラにも関わってきており、慶應義塾ワグネルソサエティーオーケストラ、アンサンブル・コンソルテ、新交響楽団等を指揮・指導している。



立命館大学交響楽団においても、第99回、103回、107回定期演奏会にて客演指揮者として指揮・指導にあたっている。



〈会場へのアクセス案内〉

京都コンサートホール
京都市左京区下鴨半木町1番地の26

- 京都市営地下鉄烏丸線北山駅下車(1)番出口南へ徒歩3分
- JR・近鉄の場合 京都駅にて地下鉄烏丸線に乗り換え、国際会館行きで北山駅下車(約16分)
- 阪急の場合 烏丸駅にて地下鉄烏丸線四条駅と接続(約12分)
- 京阪の場合 三条駅にて地下鉄東西線に乗り換え、烏丸御池駅にて地下鉄烏丸線に乗り換え(約21分)
- 市バスの場合 204・205・206系統に乗り府立大学前下車徒歩10分

立響友の会会員募集中!

チケットのプレゼントや演奏会での座席指定など、特典がたくさんございます。

年会費：一般3000円/学生1000円